

# ご指摘事項への回答について

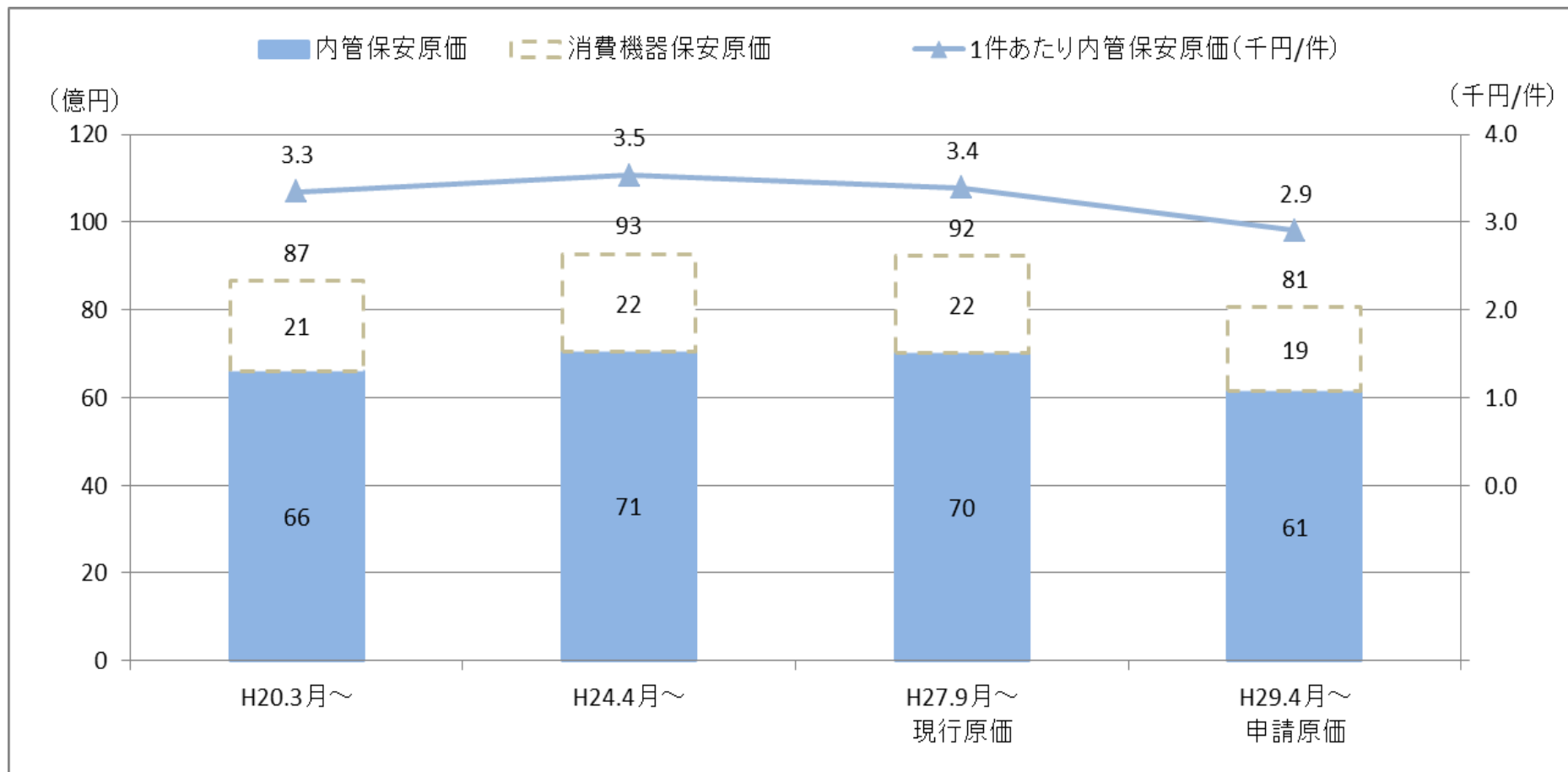
～ご指摘事項1、4、6～

平成28年11月10日

東邦ガス株式会社

# 1.内管保安原価の推移

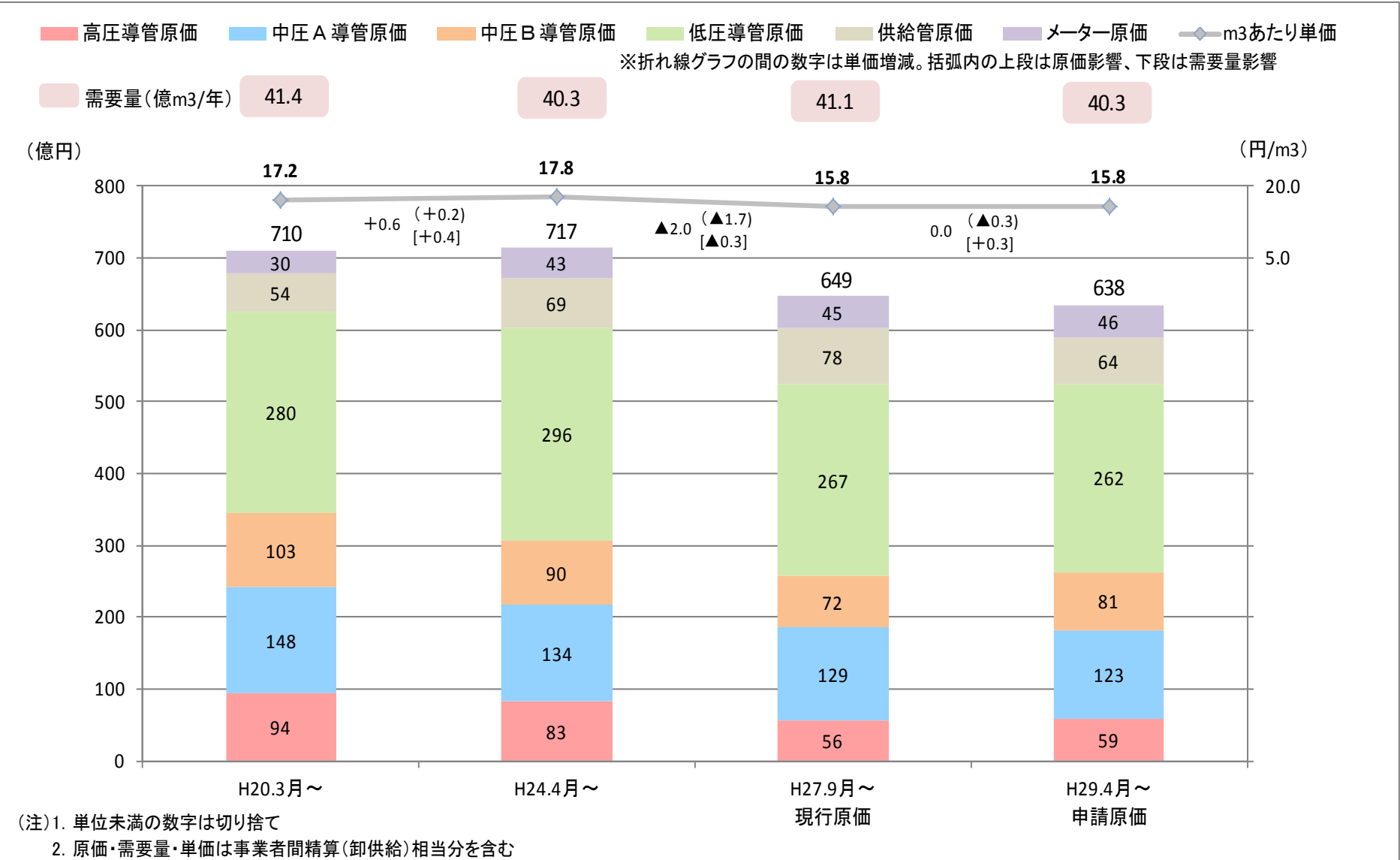
- 申請原価における内管保安原価は、現行原価との比較で減少しております。



- (注) 1. 現行原価および過去改定における内管保安原価は、巡回保安原価相当額を比較査定対象ネットワーク費用算定時に用いた比率で案分した数値
2. 1件あたり内管保安原価は、内管保安原価を調定件数で除した数値
3. 申請原価における消費機器保安原価(19億円)は、現行原価における消費機器保安原価(22億円)に、内管保安原価の減少率(△13%:現行原価70億円⇒申請原価61億円)を加味した数値

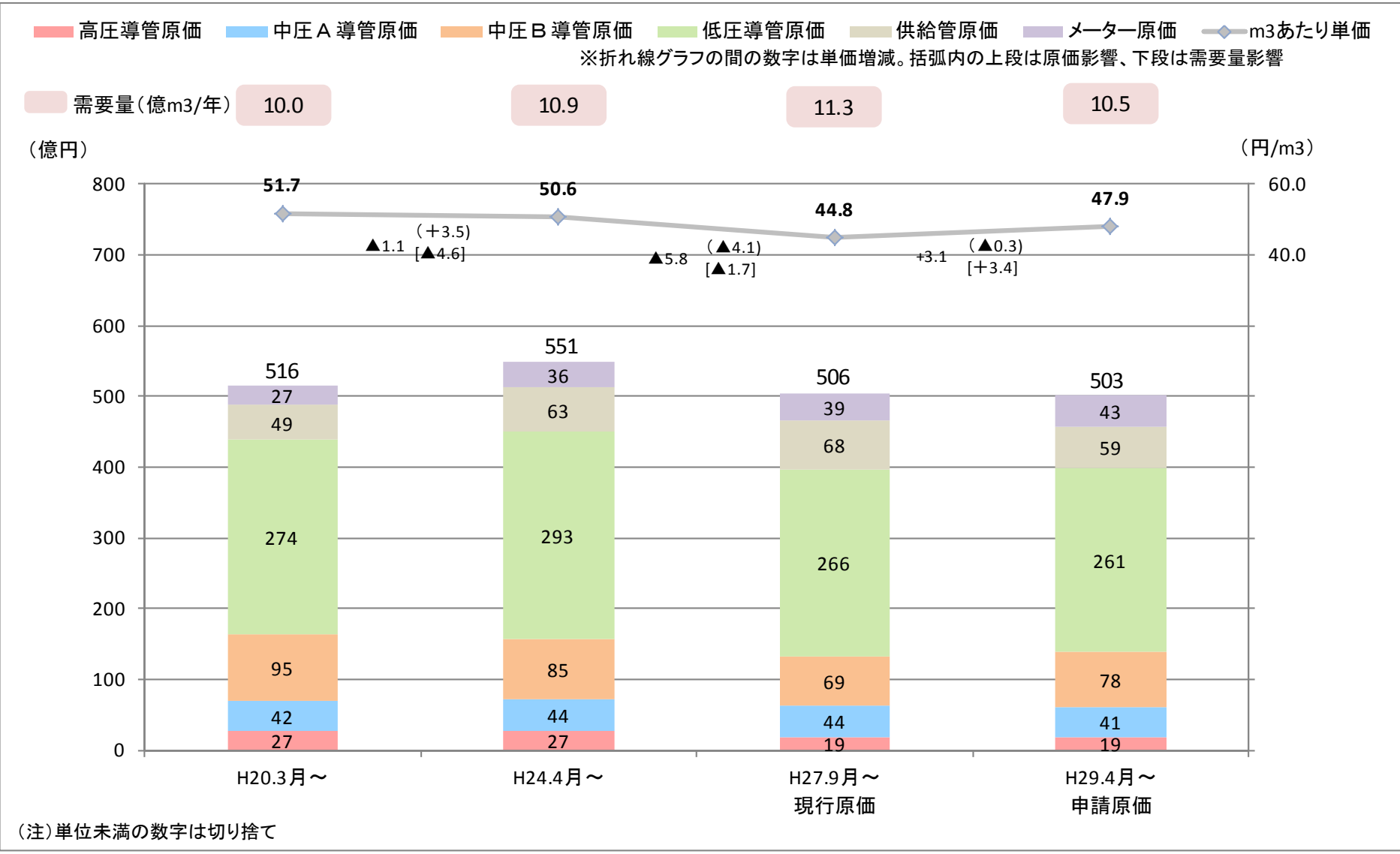
# 2.(1)従来から継続している託送原価の推移(全体)

● 従来から継続している託送原価(全体)の内訳等は以下のとおりです。



# 2.(2)従来から継続している託送原価の推移(小口)

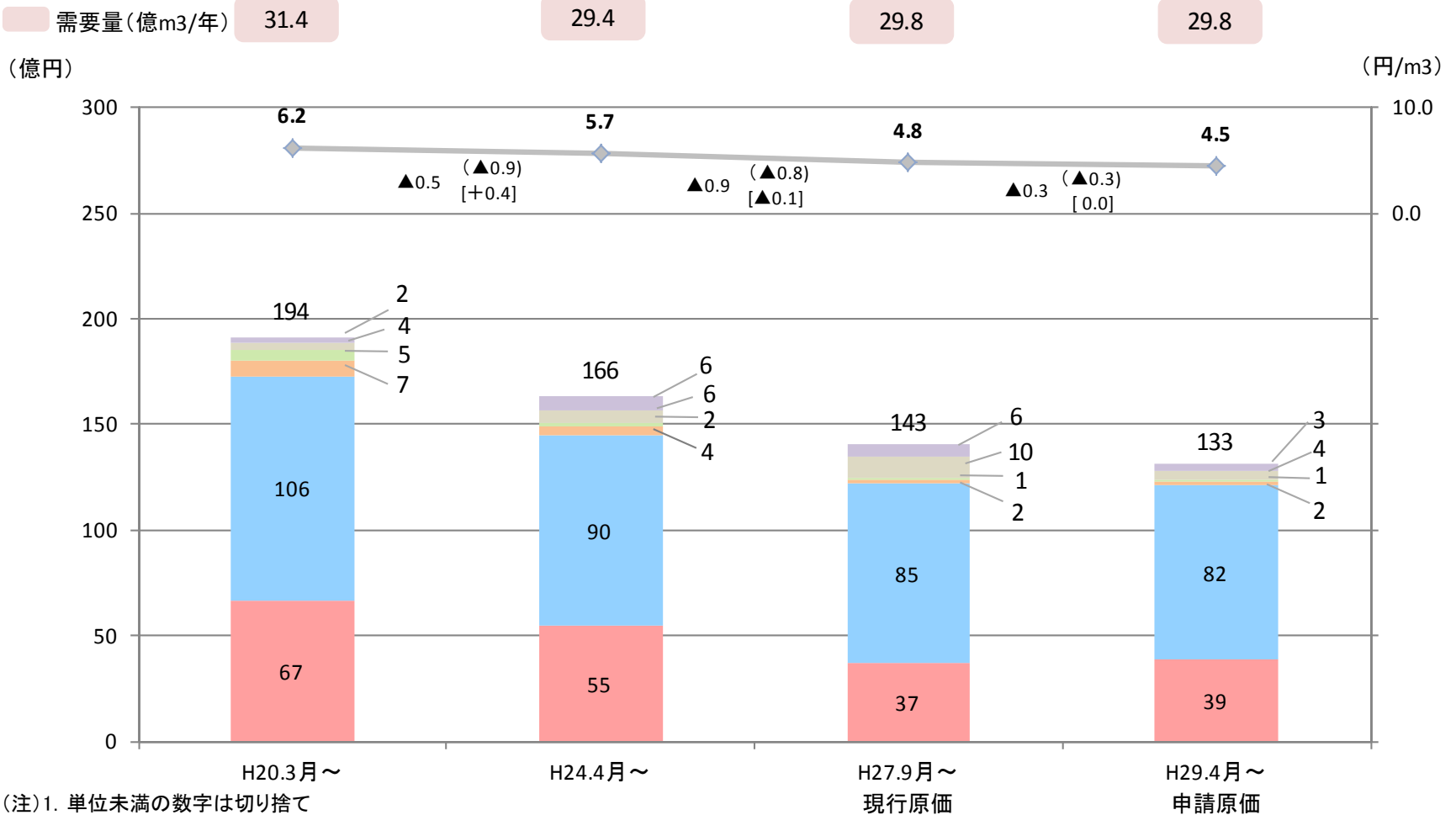
●従来から継続している託送原価(小口)の内訳等は以下のとおりです。



## 2.(3) 従来から継続している託送原価の推移(大口・卸)

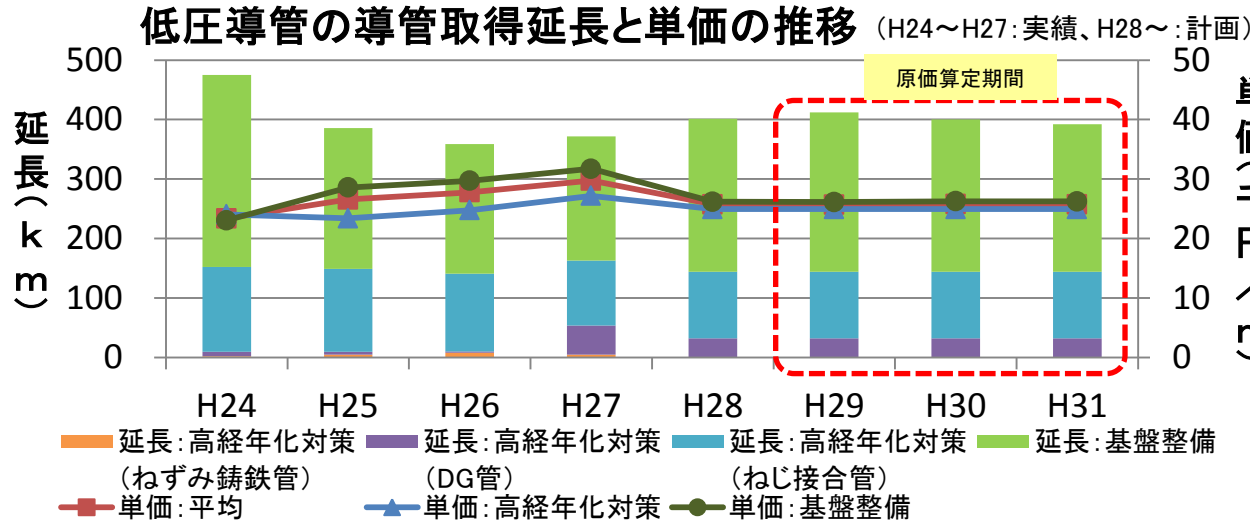
● 従来から継続している託送原価(大口・卸)の内訳等は以下のとおりです。

■ 高圧導管原価   
 ■ 中圧A 導管原価   
 ■ 中圧B 導管原価   
 ■ 低圧導管原価   
 ■ 供給管原価   
 ■ メーター原価   
 ◆ m3あたり単価  
 ※折れ線グラフの間の数字は単価増減。括弧内の上段は原価影響、下段は需要量影響



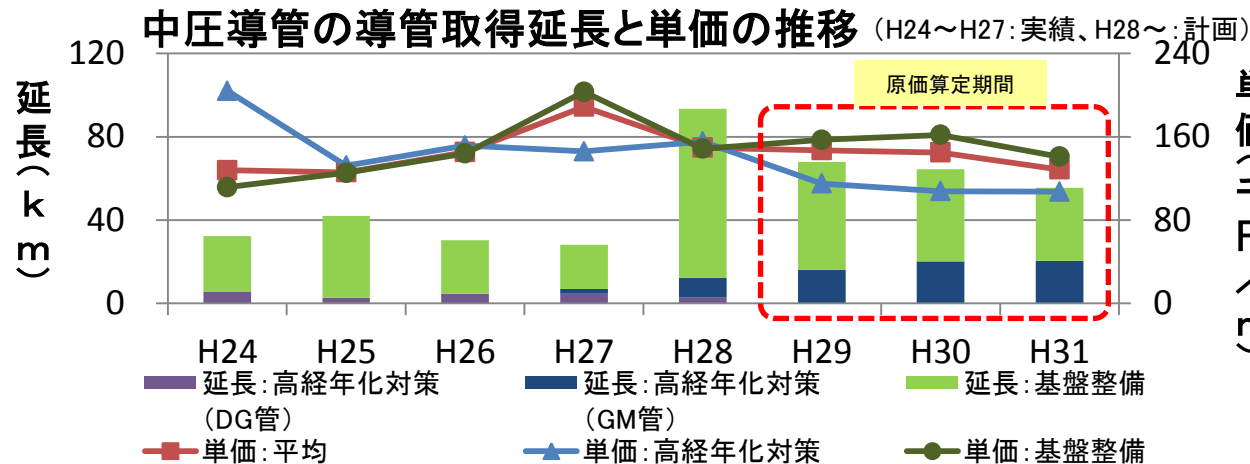
### 3.高経年化対策と基盤整備の単価の推移

- 単価が変動する主な要因※1は、施工種別(基盤整備、高経年化対策)の構成比によるものです。
  - 原価算定期間の単価は、施工種別毎の実績単価に効率化を加味して算定※2しています。
- ※1:その他には、施工する路線の規模(施工延長等)・敷設環境(河川横断、国道埋設等)・工法(非開削工法等)の要因があります。
- ※2:計画初年度(H28)以降の低圧導管および中圧導管(個別算定除く)の単価は、H24~H26年度の平均実績単価に効率化を全額加味し、一定としています。高圧導管および個別算定分については、個別路線毎の単価に効率化を加味しています。



〈主な低圧導管実績単価(H24~H26平均)〉

項目		単価
基盤整備		27千円/m
高経年化対策	ねじ接合管	21千円/m
	DG管	42千円/m
	合計	24千円/m



〈主な中圧導管実績単価(H24~H26平均)〉

項目		単価
基盤整備		127千円/m※1
高経年化対策	GM管	109千円/m※2

※1:基盤整備単価は施工状況の影響が大きく年度毎の変動幅にばらつきがある

※2:DG管対策の実績単価にて算定した原価算定期間の単価